

提 案 書

※ 記入上の注意

- ① 第2号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ② 第2号様式は広く情報公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③ 資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。
- ④ 提案書、添付書類は、選考委員会委員には白黒コピーで配付します。

提案名 (25字以内)	夢ワカメ・ワークショップ
グループ名 (25字以内)	NPO法人 海辺つくり研究会
グループの現在の主な地域社会貢献活動の内容及び最近5年以内の実績	表題の活動はみなとみらい地区で過去10年継続しています。その他、金沢区内で海の生態系回復のためアマモ場の再生活動。東神奈川で良好な海辺環境再生のために干潟造成実験。多摩川河口において干潟調査、ハゼ釣り調査。お台場において海苔養殖復活などを手掛けています。
助成金を受けて行う活動の目的 (「地域における良好な環境や地域の価値の維持・向上」にどう資するか具体的に記入してください。)	海辺に触れられない港湾区域において、参加者を募集しワカメを育成することで、海域の水質浄化に直接貢献するとともに、東京湾の海辺に親しみを持ってもらうことや、東京湾を良くしていこうという意識や東京湾の環境を良くしながら行動していく地域住民のコミュニティ形成を醸成する。このために今年は横浜市西区みなとみらい地域住民の参加枠(50名)を設けます。さらに、海外の山岳民族でヨード不足により健康被害の出ている子どもたちに送り、健康に貢献し、栄養塩の系外排出を行う。
助成金を受けて行う活動の内容	11月に一般参加者を募集し、種系を取りつけてもらい、マイワカメとして育成を行う。2月にこのワカメを回収し、重量を測定することで、回収した窒素やリンの量を数値として示し、浄化量を共有する。また、このワカメを持ち帰り食べることで、循環を図る。さらに、このワカメのうちの一部をヨード不足で健康被害の出ている海外の山岳民族に送る。また、このワカメの故郷の釜石の復興支援にも繋げる。
今回の提案の特徴その他特にPRしたい点	東京湾において海域の水質を浄化することによって港湾および海辺に対するイメージをアップさせることは、東京湾を良好にしていくために大きく寄与するものと考えられる。ワカメなどの海藻類は、生長にともなって海水中の窒素やリンを吸収し、酸素を放出するため、海水の浄化に効果が高いと言われている。これを一般参加者に参加できる形にしたことにより、環境学習面、環境意識の啓発といった点で効果がある。また、海外へ海藻の寄付を行うことで栄養塩の系外排出だけでなく国際貢献につながる。今年は、地域自治会と連携し広報するとともに、釜石の復興支援にもつなげる。これまで

	<p>に、この活動が続けられてきたのは、岩手県釜石市からワカメの種系を頂けてきたことがあります。残念ながら震災で釜石の水産業は壊滅状態となりました。しかし、7月に入りワカメの種系の生産を開始するとの連絡がありました。今年も、ワカメの種系は釜石から購入することで、現地への支援につなげたいと思います。また、参加者には、釜石復興支援の募金を呼びかけたいと考えています。</p> <p>昨年度の助成報告会にて、みなとみらいミッドスクエア自治会会長とお目にかかることができました。これまでもみなとみらい地区に参加者募集を呼び掛けてまいりましたが、地域からの参加者が少なかったという現状がありました。自治会会長とは連携を図り地域内の参加者が増えるよう努めようと計画しています。</p>
--	---

● 活動計画

助成金を受けて行う活動の内容を月ごとに記入してください。すでに行った活動がある場合は、そちらも記入してください。

10月	<p>横浜海上保安部、神奈川県水産課、横浜市港湾局、パシフィコ横浜に対し許認可申請。および実施準備。 地域住民枠（50名以上）を先行公募します。</p>
11月	<p>ワカメの種系の取り付けイベント（募集人員250名）11月26日予定</p>
12月	<p>生育状況の観察と参加者への報告 地域住民に対して生育状況の観察会を開催します。12月23日予定</p>
1月	<p>生育状況の観察と参加者への報告。1月21日予定。</p>
2月	<p>ワカメの回収イベント（11月の参加者250名）1月28日予定</p>
3月	<p>報告書とりまとめ</p>